

経理業務の実施主体

専属部署・担当	経営者
---------	-----

導入の背景

経営者の公私分離	従業員の立替処理の効率化	従業員の立替による経済的負担の軽減	法人の支払い業務の効率化	法人の会計業務の効率化(帳簿作成効率化等)	資金繰りの改善
----------	--------------	-------------------	--------------	-----------------------	---------

企業概要

企業名	株式会社MONSTER DIVE		
所在地	東京都港区南青山1-26-1 寿光ビル5F/6F	従業員数	35名
設立	2009年4月	資本金	25,100,000円
事業内容	・Webサイト制作・システムインテグレーション・映像制作・ライブ配信・レンタルスタジオ・Webサービス開発・運営		

導入ソリューション

ソリューション名	JCBプラチナ法人カード
特徴	・事業に関する様々な経費の支払い(交通費や接待・交際費から仕入れ、サブスクリプションサービスの支払い等)に利用可能な法人向けのクレジットカード



<お話を伺った方>  
代表取締役 岡島 将人 様

<日付>  
2024年2月



【これまで】創業直後からカードを導入していた

【導入のきっかけ】Web上から自身で調べて、導入に至った

【導入時の苦労】当時は会計システムを利用しておらず、カード明細を元にした消込作業は大変であった

【今後】他社のカードも利用しているが、可能な限りの支払いをJCBプラチナ法人カードに統合したい

導入背景

法人の支払い業務の効率化	✓ 銀行やコンビニなどはオフィスの近くにあるものの、それでも特に立ち上げ当初はスタッフも少なく、繁忙の中、振込のために銀行窓口やATMで並んだり、支払い先別に振込手続きを行うことは、とても煩雑だと感じていた。 ✓ また、銀行振込の手数料が毎回発生することも勿体ないと感じていた。
資金繰りの改善	✓ 創業直後は当然ながら今ほどキャッシュフローに余裕がなく、事業を進める上で、必要不可欠な家賃や通信費、サーバ費などの固定費の支払いや、パソコンなどの機材購入などの一時的な支払い増に対し、限られた資金での支払いタイミングの計算など、キャッシュフローの安定性を非常に重視していた。

得られた効果

法人の支払い業務の効率化	✓ インターネットサービスの購入、SaaS・通信費の月額利用料、海外取引先への支払い、従業員の交通費等、月に100-200件程度の支払いをカードで行っている。これらを銀行振込や海外送金で対応するとなると、とてもではないが今の体制では運用できない。
法人の会計業務の効率化	✓ 直近2-3年で会計システムを導入したことでカード明細が会計システムに自動連携できるようになったため、消込作業を大幅に効率化できた。
資金繰りの安定	✓ 支払いタイミングを1-2か月繰り越せるため、特に創業期はキャッシュフローの安定化に大きく役立った。
ポイントの獲得	✓ カード支払い分はポイントとして還元されるため、銀行振込よりもお得感がある。
新たに発生した課題	
利用上限額が低い	✓ 業務効率化や振込手数料の軽減、ポイントの獲得に繋がるなどのメリットのため、あらゆる支払いをカードに統合していきたいが、利用上限額が限られていることもあり、限度額の拡大に限界があることにもどかしさを感じる。
カード番号変更に伴う負荷	✓ 15年程カードを使う中で1度だけ、不正利用懸念によってカード会社の通告によりカード番号を変更した。結果として不正利用は無かったが相当数の支払い先でカード番号情報の修正が必要となり、面倒であった。